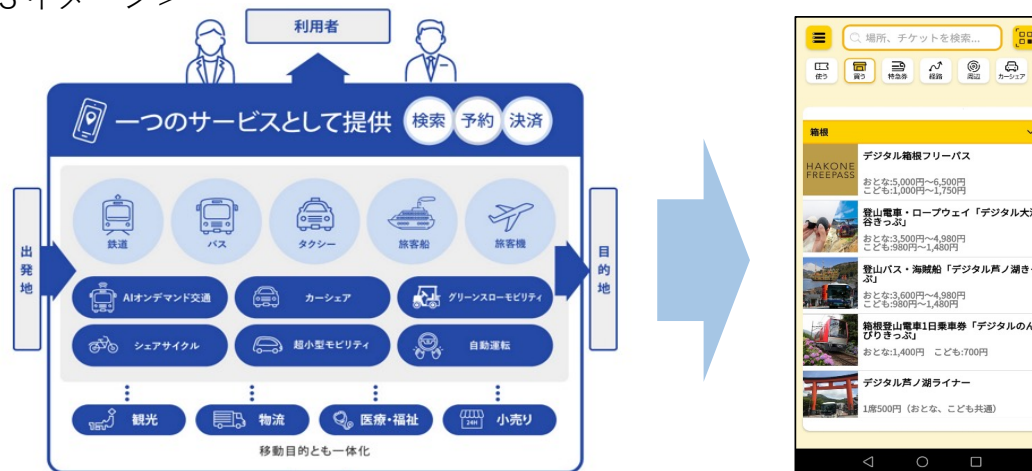


# 1 「ふくいMaaS」とは

車に頼り過ぎない住みよいまちを目指し、公共交通やタクシー、自転車などの移動の利便性向上を目的とした「(仮)ふくいMaaSアプリ」を、ふくい嶺北連携中枢都市圏で導入する。

このアプリは日常利用だけでなく、北陸新幹線福井開業に向けた観光的な利用も見据えた総合的なもので、主要駅から観光地等に向かう公共交通機関やデマンドタクシー、シェアサイクル等をシームレス(継ぎ目のない)に繋ぎ、二次交通の利用促進を図る。

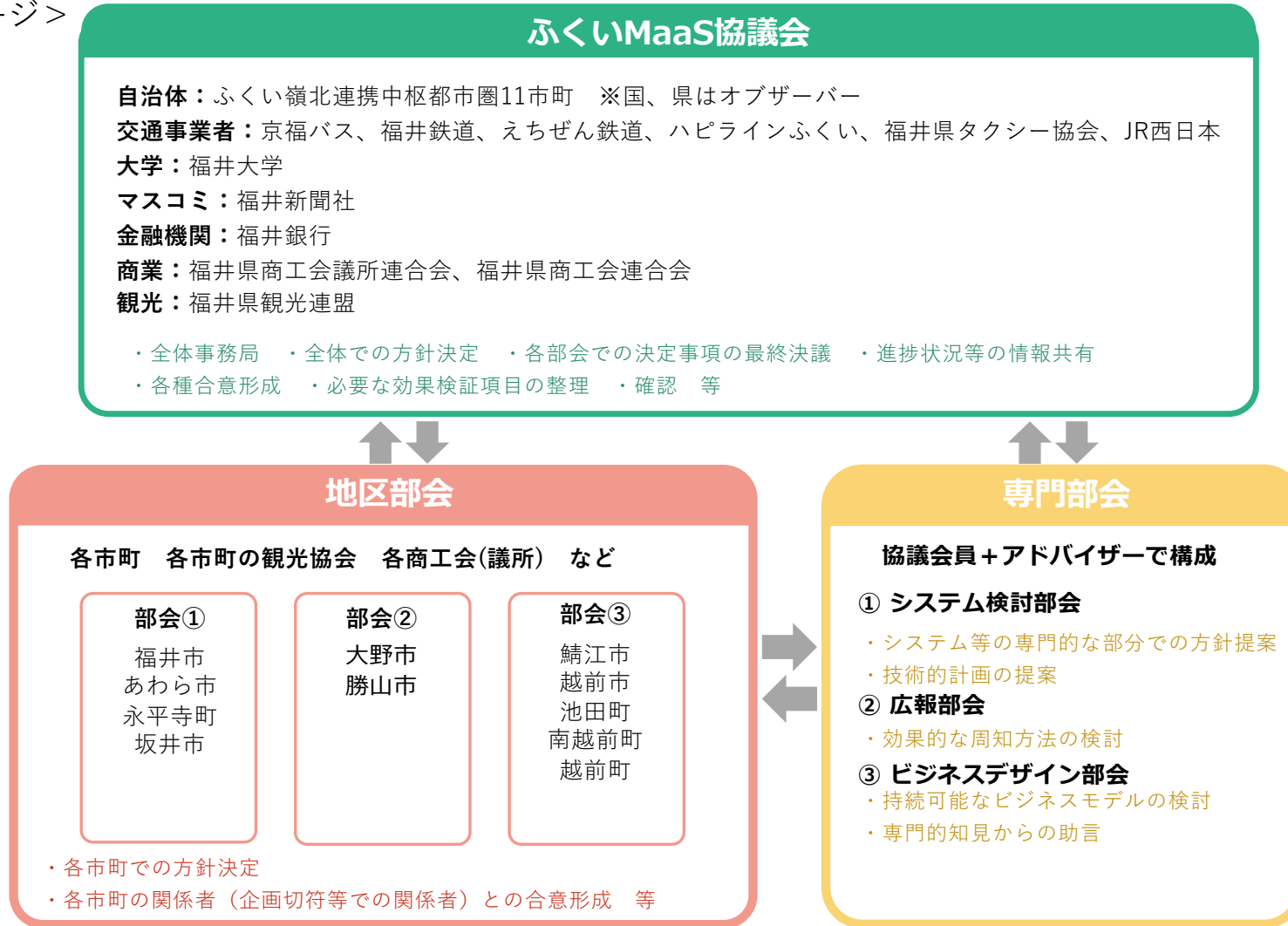
<MaaSイメージ>



出典：  
小田急電鉄株式会社  
MaaSアプリ「Emot」

## 2 ふくいMaaS協議会の構成

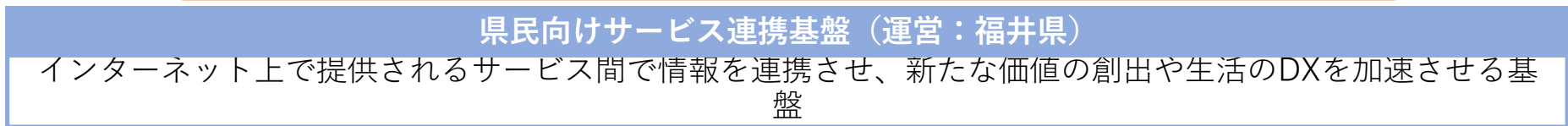
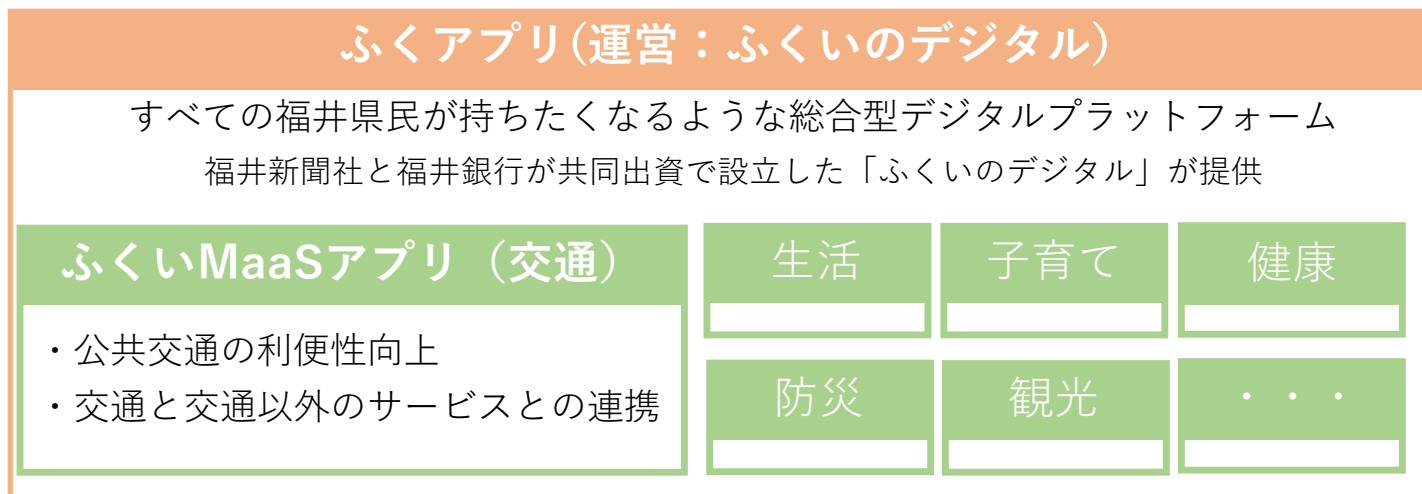
<構成イメージ>



### 3 官民連携(オール福井)での取り組み

ふくいMaaSアプリは、福井新聞社や福井銀行が共同出資する株式会社ふくいのデジタルが運営する「ふくアプリ」の交通分野の機能を担う。

このアプリは**日常利用**だけでなく、新幹線福井開業に向けた**観光的**な利用も見据えたもので、すべての福井県民、福井を訪れようとする観光客が持ちたくなるようなアプリを目指す。



## 4 ふくいMaaSアプリ導入までのスケジュール

令和4年度	ふくいMaaS協議会の設立（5月18日） ・実証実験（電子企画切符）
令和5年度	ふくいMaaSアプリの構築（国の補助金の活用(令和5～7年度)） ・経路乗換検索機能 ・各交通事業者の時刻表表示機能（マイ時刻表） ・デマンドタクシー・シェアサイクル予約機能 ・行先の観光施設、飲食店、小売店等と連携したクーポンの発行機能 ・デジタルサイネージとの連携
令和6年3月	本格導入
令和6年度 令和7年度	・本格導入後の結果を踏まえたシステム改修 ・協議会等で検討したサービス内容の追加 （例：医療機関の予約等も含めたルート表示） ・協議会内での新運営者の選定
令和8年度	新運営者による運用開始

## 5 ふくいMaaSアプリの主な機能

### (1) 電子企画切符の導入（令和4年度）

- ・現在は紙で発券されている1日フリー乗車券などの企画乗車券の電子化
- ・各市町の特性に応じた企画切符の販売  
例：「交通＋飲食」「交通＋(観光)施設」
- ・高齢者が割引料金や定額料金で乗車可能な切符の導入



電子企画切符イメージ

## 5 ふくいM a a S アプリの主な機能

### (2) デジタルサイネージとの連携（令和5年度）

北陸新幹線福井開業を控え、主要駅や観光地にデジタルサイネージの設置を検討しており、サイネージ上でQRコードを表示させ、M a a Sアプリと連携させることで連携市町のイベント情報や観光情報を手軽に取得出来る。



デジタルサイネージイメージ

## 5 ふくいMaaSアプリの主な機能

### **(3) 各市町のデマンドタクシー予約システムの統一・連携 (令和5年度)**

- ・各市町のデマンドタクシーをワンストップで予約可にする。

### **(4) シェアサイクルシステムの導入 (令和5年度)**

- ・アプリ上でシェアサイクルの利用手続きを可能にする。

### **(5) 日常利用において、より利便性を高める機能の検討 (令和6年度以降)**

- ・医療機関の予約も含めた移動ルートの表示
- ・空き時間を利用した介護送迎者の活用における予約
- ・宿泊施設サイト (例: 「じゃらん」等) との連携

## 6 ふくいMaaS導入による波及効果（メリット）

### (1) 利便性向上による利用促進

- 企画切符のキャッシュレス化により、購入の煩わしさを解消し、利用促進を図る

### (2) 利用者データの利活用

- 利用者データ（年齢、乗降場所など）を、今後の交通やまちづくり施策に活用する

### (3) 県内交流人口の増加

- 各市町の地域特性に応じた企画切符により、公共交通機関の新たな需要を掘り起こし、県内交流を促進する

### (4) 観光誘客及び利用者の増加

- 北陸新幹線などを利用して福井を訪れる観光客に対し、各市町の「観光施設、飲食店」と「交通」を連携させた企画切符を販売することで、利用者の増加を図る